

令和6年9月2日

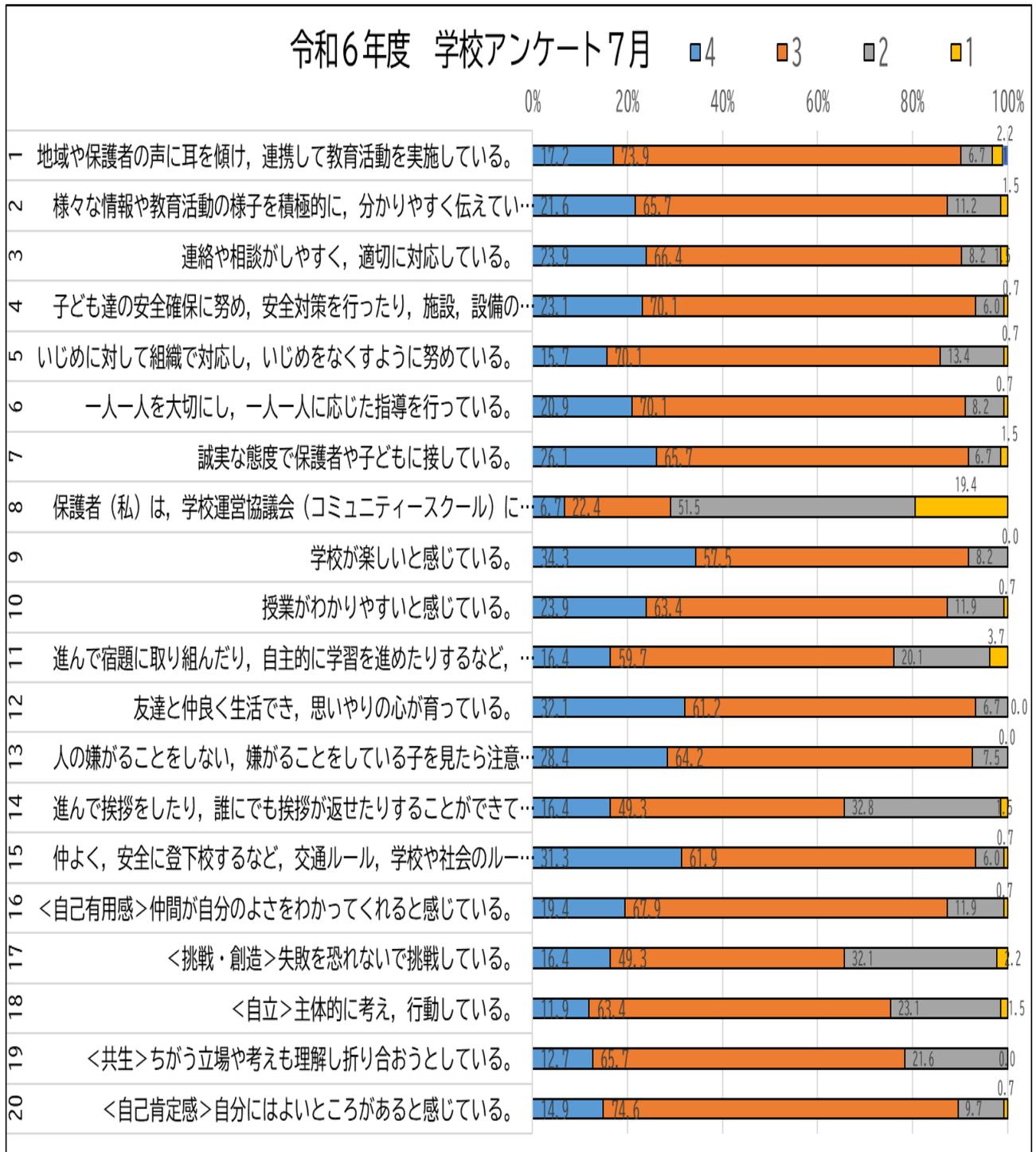
保護者様

多治見市立池田小学校
校長 中島 鈴夫

学校アンケート(保護者7月)の結果集計のまとめ

秋風の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、見出しのとおり、7月にご協力いただきました学校アンケートの結果をとりまとめましたのでご報告いたします。



4 : よくあてはまる 3 : あてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : あてはまらない

<回答率 R6.7 : 45.0% R5.12 : 52.0%>

		(%)	4	3	2	1	4+3	2+1	※.12月との差
学校について	1	地域や保護者の声に耳を傾け、連携して教育活動を実施している。	17.2	73.9	6.7	2.2	91.0	9.0	○
	2	様々な情報や教育活動の様子を積極的に、分かりやすく伝えている。	21.6	65.7	11.2	1.5	87.3	12.7	○
	3	連絡や相談がしやすく、適切に対応している。	23.9	66.4	8.2	1.5	90.3	9.7	◎
	4	子ども達の安全確保に努め、安全対策を行ったり、施設、設備の環境整備、環境美化に努めたりしている。	23.1	70.1	6.0	0.7	93.3	6.7	○
	5	いじめに対して組織で対応し、いじめをなくすように努めている。	15.7	70.1	13.4	0.7	85.8	14.2	○
	6	一人一人を大切に、一人一人に応じた指導を行っている。	20.9	70.1	8.2	0.7	91.0	9.0	◎
	7	誠実な態度で保護者や子どもに接している。	26.1	65.7	6.7	1.5	91.8	8.2	◎
	8	保護者（私）は、学校運営協議会（コミュニティースクール）について知っている。	6.7	22.4	51.5	19.4	29.1	70.9	○
お子さんについて	9	学校が楽しいと感じている。	34.3	57.5	8.2	0.0	91.8	8.2	○
	10	授業がわかりやすいと感じている。	23.9	63.4	11.9	0.7	87.3	12.7	◎
	11	進んで宿題に取り組んだり、自主的に学習を進めたりするなど、家庭学習の習慣が身に付いている。	16.4	59.7	20.1	3.7	76.1	23.9	◎
	12	友達と仲良く生活でき、思いやりの心が育っている。	32.1	61.2	6.7	0.0	93.3	6.7	○
	13	人の嫌がることをしない、嫌がることをしている子を見たら注意するなど、いじめを許さない心が育っている。	28.4	64.2	7.5	0.0	92.5	7.5	◎
	14	進んで挨拶をしたり、誰にでも挨拶が返せたりすることができている。	16.4	49.3	32.8	1.5	65.7	34.3	▲
	15	仲よく、安全に登下校するなど、交通ルール、学校や社会のルール、マナーを守って生活している。	31.3	61.9	6.0	0.7	93.3	6.7	○
	16	<自己有用感>仲間が自分のよさをわかってくれると感じている。	19.4	67.9	11.9	0.7	87.3	12.7	◎
	17	<挑戦・創造>失敗を恐れずに挑戦している。	16.4	49.3	32.1	2.2	65.7	34.3	△
	18	<自立>主体的に考え、行動している。	11.9	63.4	23.1	1.5	75.4	24.6	○
	19	<共生>ちがう立場や考えも理解し折り合おうとしている。	12.7	65.7	21.6	0.0	78.4	21.6	・
	20	<自己肯定感>自分にはよいところがあると感じている。	14.9	74.6	9.7	0.7	89.6	10.4	◎

◎ : 5%より増 ○ : 1から5%まで増 △ : 1から5%まで減 ▲ : 5%より減

学校アンケート7月の結果集計から

- ◇学校の取組が高く評価されている項目（4と3の評価を合わせて90%を超える項目）は下記の9つ（評価の高い順）でした。
- 項目4「子供達の安全確保に努め、安全対策を行ったり、施設、設備の環境整備、環境美化に努めたりしている。」
 - 項目12「友達と仲良く生活でき、思いやりの心が育っている。」
 - 項目15「仲よく、安全に登下校するなど、交通ルール、学校や社会のルール、マナーを守って生活している。」
 - 項目13「人の嫌がることをしない、嫌がることをしている子を見たら注意するなど、いじめを許さない心が育っている。」
 - 項目7「誠実な態度で保護者や子どもに接している。」
 - 項目9「学校が楽しいと感じている。」
 - 項目1「地域や保護者の声に耳を傾け、連携して教育活動を実施している。」
 - 項目6「一人一人を大切にし、一人一人に応じた指導を行っている。」
 - 項目3「連絡や相談がしやすく、適切に対応している。」
- ・ **目指す学校像の3つのうち特に「子供たち一人一人が安心して学習や生活をし、笑顔があふれる学校」「子供たち一人一人が大切にされ、保護者や地域から信頼される学校」につながる項目が評価されました。**
 - ・ 90%を超える項目が20項目中9項目もあり、特に、項目9「学校が楽しいと感じている。」の評価が高かったことは、教職員にとって大変励みになりました。
- ◇R5.12月と比べ、特に評価が高くなった項目は下記の4つでした。
- 項目11「進んで宿題に取り組んだり、自主的に学習を進めたりするなど、家庭学習の習慣が身に付いている。」
 - 項目13「人の嫌がることをしない、嫌がることをしている子を見たら注意するなど、いじめを許さない心が育っている。」
 - 項目16「＜自己有用感＞仲間が自分のよさをわかってくれると感じている。」
 - 項目10「授業がわかりやすいと感じている。」
- ・ 項目11は全体的な評価はまだまだ高くありませんが、これまでの取組が評価されてきたと感じます。
 - ・ 項目10が評価されたのは、教職員にとって大変励みになります。
- ◆評価下位項目は、下記の3つでした。
- 項目8「保護者（私）は、学校運営協議会（コミュニティースクール）について知っている。」
 - ・ R5.12月の評価よりも高くなっています。引き続き、**学校運営協議会（コミュニティースクール）については、保護者の皆様にご理解していただけるよう、これからも進捗状況も含めて伝えていきます。**
 - 項目14「進んで挨拶をしたり、誰にでも挨拶が返せたりすることができている。」
 - ・ R5.12月の評価よりも随分低くなっています。今まで以上に**児童会主体の挨拶活動を実施し、挨拶の輪を広げ、仲間や地域とのつながりを深めていきます。**
 - 項目17「＜挑戦・創造＞失敗を恐れなくて挑戦している。」
 - ・ R5.12月の評価よりも低くなっています。今後も、**具体的な目標を持ち、目標に向かって挑戦することの意義や、挑戦した過程を価値付け、今後への方向付けを大切にしていながら、子供たちの自立心を高めていきます。**

◆R5.12月と比べ、特に評価が低くなった項目は下記の2つでした。

●項目14「進んで挨拶をしたり、誰にでも挨拶が返せたりすることができている。」

●項目17「＜挑戦・創造＞失敗を恐れなくて挑戦している。」

・今後も子供たち一人一人が安心して学習や生活をし、笑顔があふれる学校にするために、子供一人一人に寄り添い、個性を大切にしながら、認め、励まし、自己肯定感を高める指導に努めていきます。

<学校、教職員>

○いつもありがとうございます。娘は学校へ毎日、楽しく通えているので安心していきます。担任の先生をはじめ、先生方のおかげだと感謝しています。これからも子供たちにとって安心できる場であることを願っています。今後も引き続きよろしく願っています。

○いつもありがとうございます。日々、丁寧に対応してくださり、先生方にとっても感謝しています。そして、先生頼りになり、先生方が大変すぎるように感じてしまいます。

○担任の先生がとてもはっきりと丁寧な喋り方で授業が分かりやすいと子供が言っております。いつもありがとうございます。

○子供はあまり書くことが得意ではないのですが、担任の先生がしっかり理解してくださり、少しずつでも書けるように導いてくださっているので大変ありがたく思っています。

●信頼できる先生がいない。信頼できない。

●問題が起きた時に、どう動いたらいいかどう伝えたらいいか、親も子も悩むことがありました。こんな時は、いつ、誰に、何を伝え(相談)たらいいか親にも子供にもご指導いただけたら助かります。そして、聞いた先生、親はどう動くのか子供達に説明をしてもらいたいです。怒られるんじゃないか、相手がきずつくのではないか、自分の気持ちと反対に動くのではないかなど、不安をもって相談できないこともあると思います。人に伝えるのは難しく正解がないこともあり、聞いた親も先生も間違えることがある事も伝えたいです。知らないだけで、すでにご指導いただいている事でしたら、すみません。

●相談事があるときなどどこに、誰に相談していいのかわかりにくい。去年のことなのでもう仕方ないと思うけれど、どんなことがあってつまづいてしまったのか本当は知りたかった。話を聞く機会をつくっていただきたかった。

・これからも、子供たち一人一人が安心して学習や生活をし、笑顔があふれる学校にするために、子供一人一人に寄り添い、個性を大切にしながら、認め、励まし、自己肯定感を高める指導に努めていきます。また、今後も、ほめて育てることを大切にしていきます。

・今まで以上に、地域、保護者、子供たちにとって連絡・相談しやすいような、関係づくりに努め、誠実な態度で保護者や子どもに接し、対応していきます。

・相談事がある際には、担任や学校職員だけでなく、様々な関係機関にも相談することができます。関係機関の連絡先等はHPに掲載したり、プリントで配布したりしています。ご活用ください。

<行事、活動>

- 運動会を保護者と子供で分けるのをやめてほしい。子供と話す機会も、友達と一緒に写真を撮る時間もなく、同じ場所にいるのに一緒に運動会に参加した気持ちになれない。
- 今の校長先生・教頭先生になってから、学校が閉鎖的で保護者の意見を聞いてもらえていないと感じます。コロナ前にあったイベントはなかったことにされ、復活をお願いしても反応はなく、運動会等も簡素化されてしまいました。運動会については、ソーラン節や選手リレーは、小泉精華養正昭和共栄など多治見の他の学校はして、なぜ池田にできないのか不信感が積もります。駐車場問題などは今までもみんな配慮して徒歩や乗合で来ていたはず。上級生が上級生としての振る舞いや責任を感じるのに、低学年に態度を示す機会を奪っているのではないかと感じます。前回、前々回の校長先生・教頭先生がとても親身で子供達思いだったので、今回の校長先生・教頭先生の在任期間が長くなるにつれ、不満や不信感が毎年積み上がっているように感じます。
- プールに入る日数がとても少ないので、もっと増やしていただきたいです。多治見市内でも週2~3日やっているところがあると聞いたので、せめて週2あると嬉しいです。天気や行事等で、入れないとほとんど入らないので、もっと入れるとありがたいです。
- 夏休み期間、何とか、プールを開放してもらえるように、ならないか。
- 命を守る意識を高めるためにも、小学生から緊急時の対応やAEDや胸骨圧迫のやり方を教えて欲しいです。

- ・ これまでも、行事については、子供たちの多様性や体力、令和の時代にあった学校行事の在り方、新学習指導要領の内容を考慮し、ねらい、内容、方法を変更したり、精選したりしています。行事を通して、子供たちの主体性、自主性を育てていくことが最大のねらいであることに変わりはありません。全校的な行事については、上級生が下級生に姿で示し、活躍することも大切にしています。今後も地域や保護者、子供たちの声に耳を傾けながら、行事等の精選、変更を行っていきます。よろしく願います。
- ・ 水泳の授業については各学年10時間を計画し、着替えや移動時間を考慮し、2時間続きで実施しています。そのため、週1日(2時間)を5週にわたって実施しています。できるだけ週の初めに計画し、天候による対応を週末に実施できるようにしています。
- ・ 夏休み中はWBGTによる熱中症指数が非常に高くなり、プール開放実施中はもちろん、登下校時も非常に危険となるため、夏休み中のプール開放は実施しません。
- ・ AEDや胸骨圧迫のやり方についての救急救命講習は毎年6年生が実施しています。

<安全>

- 通学路の危険箇所を提出したが通学班が存在せず少数意見だからか、先日の市へまとめて依頼した旨の内容には反映されていなかった。
- 学童のお迎えや懇談の際、正面玄関の扉がいつも開放されていて、誰でも校内へ入られるようになっていることが、安全面で少し気になります。昔大阪であった事件のように不審者が入ってきてしまわないか…。現在の安全対策がどのような状況か分からないので、すでに十分な対策をされていたらすみません。

- ・通学路危険箇所についての市への依頼は各校5箇所までとなっており、学校とPTAで危険度や意見数を考慮した上で、市へ提出しています。提出したのものについては学校HPに掲載してあります。学校からの要望には数の制限がありますが、危険箇所についての要望は、区などの自治会から提出することもできます。区などの自治会へ相談してみてください。
- ・児童玄関の扉については、登校時、20分休み、昼休み、下校時以外は閉じ、不審者対応、防犯、安全対策としています。

<その他>

- 家で使う用がない日はタブレットを学校保管にできませんか。子どもが、クラスによって置いていっていいところがあると聞いたこともあるようです。この暑すぎる中の登下校、少しでも荷物が軽くなるといいなと思います。
- 給食を向かい合って食べるようにしてほしい
 - ・コロナ禍ではないため、ずっと前を向いて食べるメリットがない
 - ・お友達と話しづらい、色々な子と仲良くなるチャンス(機会)を無くしている
- ロイロノートのお便りは見づらいです。まだきずなのPDFの方が時間を選ばず閲覧できる。
- アンケートにも関わらず、匿名でなく名前記載というのもあまり納得できません。本心を伝えることによって子供に不利益が生じないか心配。

- ・タブレットは、学習道具、文房具、連絡ツールとして、充電も含め、学校、家庭で毎日使用できる状態をお願いしています。そのため、使用頻度は日によって違いますが、毎日の持ち帰りをお願いします。荷物の軽減のために、教科書等を持ち帰らないようにしています。タブレットの持ち帰りについては引き続き検討をしていきます。
- ・給食を向き合って食べることについては、今後も感染状況を見定めながら、検討、決定していきます。
- ・ロイロノートによる便りは市から発出されています。ご理解のほどよろしく申し上げます。
- ・アンケートに名前を記載することで、子供に不利益が生じることはありません。記名があることにより、直接声を聴くことができるようになります。

※同様なご意見を多数いただきました。また、上記以外のご意見もいただきました。それらのご意見に対しては引き続き検討を重ね、善処できるように努めていきます。